

第二十六回帝國議會 衆議院 印紙稅法中改正法律案外四件委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治四十三年一月二十五日午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

佐竹 作太郎君	高木 益太郎君	山岡 國吉君
高田 露君	村井 善四郎君	小野崎 耕夫君
原岡 永江君	花村 覺三郎君	天野 董平君
坂本 元明君	阿部 政太郎君	徳田 讓甫君
細川 義昌君	橋本 久太郎君	遠藤 良吉君
小山田 信藏君	佐藤 庫喜君	小林 庄一郎君
橋本 太吉君	藤澤 幾之輔君	飯田新右衛門君
日向 輝武君	豐増 龍次郎君	佐々木 文一君

出席政府委員左ノ如シ

專賣局長官 濱口 雄幸君 大藏省主稅局長 菅原 通敬君
大藏書記官 鈴木 繁君 大藏書記官 吉川 貞矩君

○委員長(佐竹作太郎君) 是ヨリ印紙稅法中改正法律案外四件ニ關スル委員會ヲ開キマス、順序ハ政府ヨリ提出サレシタ順序ニ依リマシテ、印紙稅法中改正法律案、亞イテ民事訴訟用印紙法中改正法律案、商事非訟事件印紙法中改正法律案、行政訴訟書類印紙貼用廢止ニ關スル法律案、製鹽地整理ニ關スル法律案、斯ウ云フ順序ニ依ッテ御質問ガアッタラ宜カラウト思ヒマス

○橋本久太郎君 是ハ一ツ政府委員ヨリ先以此唯今委員長カラ御示シガアッタ製鹽地整理ニ關スル法律案ト云フノハ、是ハ大分複雑デモゴザイマスシ、問題ガ今度ノ提案中デ大キイヤウデスカラ、是ハ先ツ後ニシテ、其他ノハ一應政府カラ順序ヲ逐フテ此提出ニナリマシタ趣旨ヲ明カニ御説明アラント希望致シマス

○政府委員(菅原通敬君) 唯今ノ御尋モアリマスカラ、委員會ニ於テ御審査ニナリマス五案中、印紙稅法、民事訴訟用印紙法、商事非訟事件印紙法、及行政訴訟書類印紙貼用廢止ニ關スル法律案ニ付テ大體ノ説明ヲ致シマス、是等ノ四案ハ先年稅法整理案トシテ議會ニ提出ニナリマシタトコロノ案ト、全ク同一デアリマシテ、少シモ變更ニナッテ居ルノデハナイデアリマス、其中印紙稅法中改正法律案ハ、御覽ニナリマス通リ極メテ簡單ナモノデアリマシテ、是ハ印紙稅法中ニアリマストコロノ定額ノ稅ト、非常特別稅法中ニ規定シテアリマストコロノ増徴ニナリマシタトコロノ稅率トヲ合シテ、一ノ稅ト致シテ整理ヲ致スニ過ギナイデアリマス、ソレデ第四條中ニ「一錢」ヲ「二錢」ニト云フノハ、第四條中ニ委任狀ガ印紙稅ガ一錢ニナッテ居リマス、然ルニ非常特別稅法ニ於テ、ソレガ一錢増徴ニナッテ居リマスカラ、ソレヲ合セテ「二錢」ニ致スト云フコトニナルデアリマス、ソレカラ「二錢」ヲ「三錢」ニ改ムト云フノガアリマスガ、ソレハ第四條中爲替手形以

下ノ證書、帳簿ニ付キマシテ二錢ノ印紙稅ガ定メラレタルデアリマス、其上ニ非常特別稅法ニ於キマシテ一錢ヲ加貼致シテ居リマスカラ、其一錢ヲ加ヘテ三錢ト致スト云フデアリマス、ソレカラ「二錢」ヲ「三錢」ニ改ムト申シマスノハ、第四條中判取帳ニ付テ定額ノ印紙稅ガ二十錢ト極メテ居リマス、其上ニ非常特別稅法ニ於テ「五錢」ヲ加貼致シテ居リマスカラ、ソレヲ合セタモノヲ稅率ト定メルト云フノデ、ソレガ二十五錢トナルデアリマス、ソレカラ亞イデ第二十二條中ニ「二十圓以下ノ罰金」ヲ「二圓以下ノ科料」ニ改ムト書イデアリマス、是ハ單ニ今日ノ刑法ノ規定ト一致サセルガタメニ、序ニ直スト云フニ過ギナイデアリマシテ、單ニ條文ノ整理ニ過ギナイデアリマス、次ニ民事訴訟用印紙稅法デアリマス、是ハ差上ケテ置キマシタ現行稅率改正稅率對照表ト云フ印刷シタモノガアリマスガ、其處ノ二十二頁ノ所ヲ御覽ヲ願ヒマス、ソレカラ參照ノ條文ノ方ハ、此參照條文摘錄ヲ差上ケテ置キマシタカラ、其方ハ十七頁ノ所ヲ御覽ヲ願ヒマス、此案モヤハリ大體ニ於キマシテ定額ノ印紙貼用額ト、ソレカラ非常特別稅法ニ依ッテ増徴致シマシタモノト加ヘテ、サウシテ印紙貼用額ヲ定メタト云フコトニ過ギナイデアリマス、ナカノ事柄ガ複雑ニナッテ居リマスヤウデアリマスケレドモ、其稅率ト定メ方ハ今申上ゲタヤウナコトニナッテ居ルデアリマシテ、此對照表ヲ御覽ニナリマスト云フト、現行稅率ト云フモノト改正稅率トハ殆ド皆一致シテ居ルデアリマス、其中僅ニ變テ居ルモノガアルデアリマス、此變テ居ルモノト申シマスノハ、最初非常特別稅法ニ於テ規定致シマシタ場合ニ於テ、少シク其規定ノ間違ッテ居ルコトガアツタデアリマス、本來ノ趣旨カラ申スト云フト、斯ウ云フヤウニ極メナケレバナラヌト云フ、其心持ヲ此文章ニ現ハス場合ニ於テ其通り規定サレテ居ラナカタト云フタメニ、解釋上最初豫期シタモノヨリモ、印紙ノ貼用ヲサセルコトガ出來ナイト云フヤウナコトニナッテ居タ廉ヲ發見致シタデアリマス、ソレデ此場合ニ於テソレヲ整理シヤウト云フデアリマス、即チ其事ハ此控訴狀ト上告狀ノ所ヲ御覽下サイ、對照表ノ二十三頁——控訴狀ノ方ノ財產權上ノ請求ニ係ルモノ、訴訟物ノ價格五圓迄、ソレガ定額ノ稅ガ二十錢ニナッテ居リマス、ソレカラ増徴ガ二錢五厘合セテ二十二錢五厘ニナッテ居ル、現行ハ——然ルニ今度改正ノ率ニ依リマス、三十七錢五厘ニナルデアリマス、五錢増シテ居ルヤウナコトニナッテ居リマス、ソレカラ上告狀ノ方ヲ御覽ニナリマシテモ定額ノ方ガ、此訴訟物價格五圓迄ノモノニ付テ申セバ、定額ガ四十錢増徴ノ方ガ五錢合セテ四十五錢ニナッテ居ルノガ今度ノ改正ニ於テ、五十錢ト云フコトニナルデアリマス、ソレデ何故斯ウナルカト云フト非常特別稅ノ方ノ規定ノ第四條デス、即チ參照條文トシテ差上ケテ置キマシタ、二十一頁ノ裏ノ方ヲ御覽ヲ願ヒタイ、ソコデ控訴狀ト云フノガアリマシテ、ソレハ第一審ノ訴狀ニ貼付スベキ印紙金額ノ半額、ソレカラ第二二シテ、上告狀第一審ノ訴狀ニ貼付スベキ印紙金額ト同額ト斯ウアルデアリマスカラ、丁度第一審ノ方ノ書類ニハ價格五圓迄ノモノニ付テハ五錢ヲ加貼スルコトニナッテ居リマス、其五錢ノ半額ガ二錢五厘、即チ二錢五厘ガ控訴狀ノ方ニ加貼ニナッテ居リマス、上告狀ノ方ハ五錢ト同額ノ金額ガ加

貼ニナル、斯ウ云フコトデアリマスガ故ニ、此正當ノ解釋カラ云フト此二錢五厘トナリ、五錢ニナルト云フコトニナルノデスカラ、此結果控訴狀ノ方ニ於テハ増徴ト定額ト合セテ三十二錢五厘トナリ、上告狀ノ方ハ四十錢ノ定額ニ五錢ノ増徴ヲ合セテ、四十五錢トナル、所ガ元來此民事訴訟用印紙法ノ原則トシテ取リ居リマスモノハ、參照條文ノ十七頁ノ所ヲ御覽ヲ願ヒタイ、第五條ニ控訴狀ニハ第二條ノ規定ニ從ヒ其半額、上告狀ニハ其全額ノ印紙ヲ加貼ス可シ、即チ控訴狀ニハ第一審ノモノニ對シテ五割増ニナッテ居ル、上告狀ニ付テハ第一審ノモノニ對シテ一倍ニナルト云フコトガ原則ニナッテ居リマス、所ガ其積リテ書イタノガ、非常特別稅法中ノ少シ言葉ガ足りナカッタ、ソコデ此場合ニ於テ、ヤハリ其原則ニ從ッテ控訴狀ト云フモノガ第一審ノ五割増、上告狀ト云フモノガ第一審ノ訴狀ノ一倍増ニナルト云フコトニ改メルト云フコトガ、是ガ適當ナモノデアルト云フコト、斯様ニ整理ヲ致シタルデアリマシテ、其他細カイトモアリマスルガ、又御尋ニ應ジテ御答スルコトニ致シマス、ソレカラ次ニ商事非訴訟用印紙デアリマス、是ハ全然此定額ノモノト非常特別稅ノ増徴トヲ合セタモノヲ、貼用額ト定メタルハ少シモ現行トハ變テ居リマセヌ、ソレカラ次ハ行政訴訟書類ノ印紙貼用ノ廢止ニ關スル法律案デアリマスルガ、是ハ曩ニ非常特別稅ヲ増徴致シマス場合ニ於テ、民事、商事其他ノモノニ付テ印紙ヲ増貼サセルコトニ改正シマシタニ付テ、ヤハリ行政訴訟ノ書類ニモ印紙ヲ貼用サセテ、一廉ノ歳入ヲ得ヤウト云フコト規定サレタルデアリマス、然ルニ熟考之ヲ考ヘマスノニ、行政ノ訴訟ハ普通ノ民事ノ訴訟ナド、大分趣ヲ異ニシテ居ルデアリマスカラ、其書類ヲ提出スルニ付テ印紙ヲ貼用スルコト云フコトハ餘リ面白コトデハナイ、而モソレニ依ッテ收入ヲ得ルト云フコトハ、極メテ少額デアリマス、是等ノ法ハ廢シテシマッタ方ガ相當デアラウト云フコト、廢止スルコトニナッタルデアリマス、ソレニ依ッテ收入ノ減ルコトハ此租稅整理ニ依ル歳入總計明細表ニ書イテアリマス通り、僅ニ千九百圓バカリノモノニ過ギヌデアリマス、大體ソレダケ申上ゲテ置キマス

○高木益太郎君 此印紙ノ各項目ニ付テ、例ベバ一審ノ訴狀ニ貼用シタル印紙額ハイクラ、控訴ノ訴狀ニ貼用シタル印紙額ハイクラ、上告狀ニ貼用シタル印紙額ハイクラト云フヤウナ、具合ニ政府デ調査シタモノガアリマスカ、例ヘバ行政訴訟ノ印紙ヲ廢スルト、千九百何圓シカ減ジナイノデアアル、少額デアラカト云フコトハ是ハ廢止スルト云フ御説明デアリマシタガ、サウスレバ今申シタル各項目ニ付テ、何カ調ベタモノガアレバ見タイノデアリマス、ソレカラ是ハ當ニ民事訴訟バカリデナク、爲替手形——爲替手形ト云フモノハ凡ソイクラ印紙ヲ貼タモノデアラカト云フコトニ付テ、調ベタモノガアリマスレバ調査上必要デアラウト思ヒマスカラ、見タイノデアリマス

○政府委員(菅原通敬君) 訴訟用印紙ノ各項目ニ付テノ貼用方ハ調ベテアリマセヌ、ソレカラ印紙稅法ノ上ノ爲替手形ハイクラ、約束手形ハイクラト云フコトモ、是モ調査シテ居リマセヌ、元來印紙ガ同形ニナッテ居ルモノデアリマスノデ、各人ガ思ヒ思ヒニ其印紙ヲ買取テ其書類ニ貼用スルコトニナッテ居リマスカラ、ソレヲ一々調査致サウト思ヒマシテモ 其方法ガナイノデアリマス、實ハサウ云フヤウナ調査ヲシタイト、今日思ッテ居リマスケレドモナカノ、容易ニ出來マセヌノデ、御覽ニ入レルコトガ出來ヌデアリマス

○高木益太郎君 爲替手形カ、何カデアレバ成程、各人ガ銘々イロノニヤッテ居ル

コトデアリマスカラ、分ラヌト云フコトモアリマセウケレドモ、訴狀ノ方ハ裁判所ヘ出スノデアツテ、サウシテ會計検査院ガ其貼用ノ上ニ付テ審査ヲスルヤウナ手續ニナッテ居ルノデアラカラ、大體ドノ位ノコトガ御分リニナッテ居リサウニ思ッテ、實ハ質問シタルデアリマスガ、御分リニナラヌケレバ已マ得ヌ次第デス、ソレカラモウ一ツ聽イテ置キタイノハ此賣買仕切書ト云フモノ、定義デス、是ハ商慣習上ノ賣買仕切書ト云フモノト、實際此各稅務署ガ取扱ッテ、稅務署ノ見ル所ノ賣買仕切書ト云フモノハ、餘程違フ居ルヤウデアリマシテ、其結果或ル稅務署デハ、二錢ノ印紙ヲ貼用シナイデモ、其儘ニ看過セラレテ居リ、或稅務署デハ印紙ヲ貼用ヲシナイモノハ、ドンノ檢舉シテ、之ヲ罰スルト云フヤウナコトニナッテ居ルノデアリマス、今政府委員ハ此御提案ノ賣買仕切書ト云フモノハ、ドウ云フ範圍ノモノヲ指スノデアラカ、ソレハ此際明カニシテ置キタイノデアリマス

○政府委員(菅原通敬君) 先程民事訴訟用印紙ノ各項目ニ對スル内譯ガイクラニナッテ居ルカ、分ッテ居ルカト云フ御尋ニ對シマシテ分ラヌト云フコトヲ申上ゲマシタガ、此席ニ於テ分ッテ居ラヌト云フコトヲ申上ゲルノデアリマシテ、若シ裁判所ノ方ニ就キマシテ、一々ニ調査致シマシタナラバ是ハ分リ得ナイコトデハナイト思ヒマスカラ、唯手數ノ問題デアリマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス、ソレカラ此賣買仕切書ト云フモノニ付テドウ云フ解釋ヲ政府ガ執ッテ居ルカ、隨分是ハ度々問題ノ起ルコトデアリマシテ、甚ダ迷フ場合モ無イトハ限ラヌデアリマスガ、要スルニ商慣習ニ於テ、賣買仕切ト認メテ居ルモノヲ政府ニ於テモヤハリ認メテ居ルノデアルト申上ゲルヨリ仕方ガナイノデアリマシテ、其結局ノ裁斷ハ、何レモ裁判所ノ判決ニ待ツト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、今日然ラバ政府ニ於テドウ云フ解釋ヲ執ッテ居ルノデアラカト云フコトニナリマスト云フト、是ハ少シ此所デ申上ゲルニ付テハ調ベテ申上ゲヌト云フコトイケマセヌデアリマス、イツレ大藏省ノ省議トシテ極ッテ居ルモノガアリマス、省議トシテ極ッテ居ルモノガアリマスカラ、ソレテ御披露——御紹介スルノデアリマスガ、此所ニ丁度其省議ノ決定ニナッテ居ルモノヲ持參シテ居リマセヌ、場合ニ依ッテ御覽ニ入レルコトニ致シマス

○高木益太郎君 モウ一ツ此同ジク印紙稅法中ノ受取書デス、例ヘバ端書ヘ持ッテ行ッテ、何々ノ金ヲ受取ッタル、云フヤウナコトヲ書クト云フト、ヤハリ政府ノ意見デハ手紙ノ中ヘ書イタ金ノ受取ノ文句ガ記載シタルモノデモ、ヤハリ印紙稅法第四條ノ規定ニ依ッテ、受取書トシテ印紙ヲ貼用ヲ要スルト云フ見解デアラカドウデアラカ

○政府委員(菅原通敬君) 只今仰セノヤウナ書類デアリマシテモ、苟モ金錢授受ノ證明ニナルモノデアルト致シマシタナラバ、ヤハリ受取書デアラウト思ヒマス

○委員長(佐竹作太郎君) ドウデゴザイマセウ、此製鹽地整理ニ關スル法律案ノ大體ノ説明ヲ御聽ニナッタル如何デス

○橋本久太郎君 委員長ガ唯今御諮リノ通り、印紙稅法中改正法律案ノ趣意ハ能ク分リマシタガ、ドウゾ此大ニ製鹽地整理ニ關スル法律案ノ提出ノ理由ヲ政府委員ヨリ明カニ説明アラントラ望ミマス

○政府委員(濱口雄幸君) ソレハ製鹽地整理ニ關スル法律案ノ、提出ノ大體ノ理由ヲ説明致シマス、内地ニ於ケル製鹽業ノ狀態ヲ見マスルニ、十州地方、其他二三ノ主產地タル地方ヲ除クノ外ハ、誠ニ微々タル小產地ガ全國ノ各地ニ散在致シテ居リマ

シテ、其營業ノ組織ハ小サク、鹽ノ產額モ少ナク、從テ生産費モ亦多キヲ要シマス、加之鹽ノ收納並ニ取締ノ事務ヲ執行シマスルガためニ、多數ノ官署ノ存立ヲ必要トシマシテ、爲ニ吏員ノ俸給トカ、廳費、旅費、其他雜給雜費等行政費ヲ要スルコトガ誠ニ少ナクアリマセヌ、抑々鹽ノ價格ヲ制限シマシテ、國民ノ負擔ヲ輕減シ、併セテ專賣行政ノ簡便ヲ計リマスコトハ、目下ノ急務ト信ジテ居リマス、ソコデ政府ハ此目的ヲ達スルガ爲メニ四十三四十四ノ兩年度ニ涉リマシテ、是等ノ小鹽田ノ整理ヲ行ヒマシテ、其整理ニ依ッテ生ズルコロノ内地鹽ノ產額ノ減少ヲ補充スルガためニ、廉價ナル臺灣ト關東州トノ鹽ノ購入額ヲ増加シマシテ、其購入額ノ増加ニ依ッテ生ジマスルコロノ差益ノ増加額ト内地鹽田整理ノ結果カラ生ジマスルコロノ、行政費ノ節約トヲ以チマシテ、鹽價ノ輕減ヲ圖ル、是ガ政府ノ計畫ノ大要デアリマス、而シテ一定ノ區域ヲ極メマシテ、其區域内ニ於ケル鹽製造業ノ禁止シマスル結果トシテ、其當時ニ於ケル鹽製造業者鹽田ノ所有者、並ニ鹽製造專業ノ建物、設備、器具、機械ノ所有者ニ對シマシテ、相當ノ報償ヲスルト云フ必要ガアリマス、是ガ本案提出ノ大體ノ理由デアリマスガ、尙此整理ノ計畫ニ付キマシテ、少シク具體的ニ説明ヲ致シマスルガ、此計畫ニ依リマシテ、整理サルベキ町村ノ數ハイクラデアアルカト申シマスレバ、約三百三十箇町村ニ涉リマス、即チ全體ノ製鹽町村ノ約六割ガ整理サル、コトニナリマス、ソレカラ鹽製造人員カラ云ヒマス、凡ソ一萬七千餘人、全體ノ鹽製造人員ノ、ヤハリ六割ニ當リマス、製造場數カラ云ヒマス、七千二百餘ニナリマス、全體ノ五割ニ當リマス、ソレカラ製鹽地ノ反別カラ申シマス、整理セラルベキ反別ガ、約一千七百町步デアリマス、全體ノ二割三分ニ當リマス、ソレカラ其整理ニ依ッテ減少スル鹽ノ數額ハ凡ソ一萬一千萬斤デアリマス、全體ノ一割一分位ニ當リマス、而シテ今日ニ於ケル需用供給ノ關係ヲ考ヘテ見マス、内地ノ鹽ガ約凡ソ九億七千八萬斤、ソレカラ臺灣關東州カラノ輸入ガ約七千八萬斤、ソレニ四五萬萬斤ノ歐米ノ方カラノ加ヘマス、丁度十億五千萬斤位ニ需用供給ノ關係ガ相當ニナッテ居リマス、ソレ故ニ需用界ノ狀態ニ於テ大シタ變動ノナイ限リハ、内地鹽田整理ノ結果トシテ、鹽ノ供給ニ於テ約一億一千萬斤ノ不足ヲ生ジマス、此不足ヲ補フためニ臺灣、關東州ノ鹽ノ輸入ヲ増加スルト云フ計畫デアリマス、而シテ臺灣、關東州ノ鹽ノ製產力ハドウカト申シマス、關東州ニ於テハ現存ノ既成鹽田ガ凡ソ一千六百餘町步ノ多キニ達シテ居リマス、其他年々四百町步ノ増築ヲスルト云フコトハ、容易ノ業デアルト云フコトヲ當局者ハ明答シテ居リマス、臺灣ニ於テハ既成鹽田ハ一千餘町步デアリマス、尙目下其他ニ築造中ノモノデ一兩年ノ中ニ落成スルモノガ七百町步合計一千七百町步ニナリマス、ソレ故ニ臺灣、關東州ノ鹽ノ製產力ノ上ニ、更ニ一億餘萬斤増加スルト云フコトガ確實ニ申上ゲルコトガ出來ル見込デアリマス、而シテ今日ノ鹽賣價シ價格ノ下ニ於キマシテ、今回ノ計畫ニ基キ整理上專賣ノ益金ハ百斤ニ付テ一圓二十四錢何厘デアリマス、之ニ拘ラズ臺灣、關東州ノ鹽ニ付テノ政府ノ益金ハ百斤ニ付テ一圓七十一錢五厘ニナリマス、ソレ故ニ内地鹽田臺灣、關東州ノ鹽ノ差額ハ百斤ニ付テ三十七錢、之ガ臺灣、關東州ノ鹽ニ依ッテ政府ノ得ル利益ノ總額ニナリマス、百斤ニ付テ三十七錢ト云フト、之ヲ一億一千萬斤トスレバ四十一萬八千圓、之ガ鹽田整理カラ生ズルコロノ直接ノ利益デアリマス、此他ニ先程申シマシタ鹽田整理

ニ伴フテ廢止スルコトノ出來ル役所ハ、專賣支局ノ出張所並ニ派出所ヲ通ジマシテ、其數五十八箇所、此所ニ居リマスル判任官約三百人、ソレカラ雇以下ノ小者ニ於テ四百餘人、之ニ要スル俸給、廳費、旅費、雜費等ヲ合セマシテ、年額ニシテ二十萬二千圓ノ節約ガ出來マス、ソレ故ニ本計畫ニ依ル鹽田整理ノ完了後ニ至レバ、政府ハ從前ニ比シテ年々六十二萬餘圓ノ利益ヲ生ズル勘定ニナリマス、而モ政府ガ此計畫ヲシマス趣意ト云フモノハ、敢テ國庫ノ增收ヲ計ルト云フためデアリマセヌ、鹽ノ値段下ゲヤウト云フ計畫ニ外ナリマセヌカラ、政府ハ此六十二萬圓ノ增收ヲ以チマシテ、專賣局ノ益金トシテ國庫ノ收入トハ致シマセヌデ、直チニ六十二萬圓其儘ヲ以テ鹽價ノ低減ノ資ニ供スル見込デアリマス、而シテ鹽田整理ノ事業ハ、明治四十三年度及四十四年度ノ兩年度ニ互リマシテ、之ヲ行フ計畫デアリマス、其兩年度ニ於テ同程度ノ整理ヲ遂行スルトスレバ、國民ハ明治四十四年度ニ於テ六十三萬圓、ソレカラ明治四十五年度以降ニ於テ年々六十二萬圓ガ、鹽專賣ノ負擔ヲ輕減サレタト云フコトニナルデアリマス、而シテ國庫ハ之ガため厘毛モ收入ヲ減ジマセヌ、鹽ノ益金ハ依然トシテ一千六百萬圓ヲ計上スルコトガ出來ル、鹽田整理ニ要スル交附金ノ總額ハ、法律案ニ於キマシテ三百四十萬圓以內ト定メテ置キマス、之ニ對シテ五分利付ノ公債ヲ發行シテ之ヲ交附スル計畫デアリマス、此三百餘萬圓ノ內譯ハ第一ニ自作者タルト、小作者タルトヲ問ハズ、現ニ鹽ノ製造ニ從事シテ居ル者ニ交附スベキ所謂轉業補償ノ性質ヲ有スルモノ、之ガ鹽賠償價格ノ二割ニナッテ居リマス、其計算ハ約三十萬六千餘圓ニナリマス、第二ハ自作ニ係ルモノト、小作ニ係ルモノトヲ問ハズ、製鹽地ノ從業者ニ交附スベキモノ、即チ鹽製造禁止ノ結果トシテ、從來ノ鹽田ハ土地ノ性質上鹽田ノ價值ヲ失ヒマシテ、或ハ全ク利用ノ途ヲ失ヒマシテ、其土地ノ荒蕪ニ歸スルモノアリ、或ハ他ノ地目トナリ、地類ニ變換スルためニ多大ノ勞費ト、幾多ノ力ヲ費シマシテ、而シテ他ノ地類、地目ニ變換ノ出來ルモノモアリマス、旁々製鹽ヲ禁ジラレタダケニ、地主ノ財產價格ハ大ニ損害ヲ受ケルコトニナルノデス、ソコデ政府ハ此損失ヲ補償スルためニ、鹽田ノ所有者ニ對シテ、鹽田價格ト、鹽製造禁止後ノ殘存價格ニ相當スル金額ヲ交附スルト云フコトニナッテ居リマス、此金額ガ約二百萬六千餘圓、第三ハ鹽製造ニ要スルダケノ設備、器具、器械ノ所有者ニ對シテモ、土地同様是等ノ物ガ鹽製造禁止ノ結果、各々利用ノ途ヲ失ヒマスカラ、其現在價格ト、殘存價格ノ差額ヲ損失ノ補償トシテ交附スル積リデアリマス、此金額ハ百二十三萬餘圓ト云フコトニナリマス、ソコデ最高額ヲ假ニ三百四十萬圓以內ト定メタデアリマス、大體ノ說明ハ右ノ通りデアリマス、尙各條ニ付テ細目ノ説明ヲ致シマス

○藤澤幾之輔君 制限セラルベキ鹽田地ノ所在地ノ御調べガアルニ相違アリマセヌガ、何カ表ニテモナッテ居ルモノガアリマスカ

○政府委員(濱口雄幸君) 是ハ大體ノ腹案ハ持ッテ居リマス、表ハ持參シテ居リマセヌガ、腹案ナレバ申上ゲルコトガ出來ヤウト思ヒマス、要スルニ十州地方ノ主產地ハ存續スル積リデアリマスケレドモ、十州地方ニ於テモ大變進歩シタ處ト、割合ニ幼稚ナル處モアリマス、其產額ノ少ナイノニ生産費ヲ多ク要スルト云フヤウナハ、十州ノ中デモ整理ヲスル積リデアリマス、其他十州以外殘存處ハ能登半島ノ大部分、ソレカラ陸前ノ

渡波及野蒜、ソレカラ三州ノ吉田ノ產地、東京灣行徳ノ產地、是ヲ除キマシテ、其
他ハ全部整理ヲスル積リデアリマス、尙多少ノ變動ハアルヤモ知レマセウガ、今日ノ腹案
ハ大體其様ナ見込デアリマス、

○日向輝武君 唯今局長ヨリ詳細ノ御説明デアリマシタガ、此法案ヲ御出シニナ
目的ハ、今御説明ノ通りデアリマスガ、其實質ノ利益トシテハ六十何万圓——六十二万
圓位ト云フコトデスガ、其六十二万圓ハ國庫ノ收入ニシナイデ、鹽價ノ低落ノ資ニ供ス
ルト云フコトデアリマスガ、ソレヲ一斤ニ割當テレバ、位ニナリマスガ、極メテ微々タルモ
ノデアラウト考ヘマスガ、鹽專賣ノ廢止論モ大分ヤカマシクナッテ居リマス、テ鹽價ノ低落
ト云フコトハ非常ニ本員等ノ希望スルトコロデアリマスガ、僅ニ六十二万圓デケノ利益ヲ
見出スニ、非常ナル整理ヲシ、非常ナル手數ヲ掛ケテ大騒ギヤラナケレバナラヌト云フ
ヤウニ見エマスノデアリマスガ、一體ノ實質ノ利益ト云フハ、唯今御説明ノ通り果シテ六
十二万圓、之ヲ一般ノ鹽價ニ割當テル利益デアルヤ否ヤ、尙其外ニ此法案ヲ出シテ實
質ノ利益ガアルナラバ承リタイト思ヒマス

○政府委員(濱口雄幸君) 此整理ノ利益ハ、先刻説明シマシタ通り六十二万餘圓
デアリマス、之ヲ百斤當リニ換算シテ見マスルト云フト、百斤當リ約九錢ノ低減トナル
勘定ニナリマス、政府ハ六十二万圓ノ益金ヲ以テ國庫ノ利益トセズシテ、鹽價ノ低減
ニ供スルト云フコトヲ申シマシタガ、其方法ハドウスルカ、如何ニシテ鹽價ヲ低減スルカ
云フコトハマダ説明シマセズデゴザイマシタ、此六十二万圓ノ利益ヲ以テ政府ハ鹽ノ回
送費ニ充用スル計畫ニナッテ居リマス、今日ニ於キマシテモ鹽ノ回送費ノ中ノ幾部分ハ
政府ノ負擔ニナッテ居リマスガ、其政府ノ負擔シテ居ル歩合ガ誠ニ少ナウゴザイマス、十
分ニ鹽價低減ノ目的ヲ達スル譯ニ行キマセウ、此六十二万圓ヲ以テマシテ、更ニ鹽回
送ノ費用ヲ負擔スル、斯ウ云フ計畫デアリマスカラ、此六十二万圓ト云フモノガ、鹽價
低減ノ上ニドウ云フ結果ヲ及ボスカト云フコトヲ見ルタメニハ、六十二万圓ノ増額ヲ回
送鹽ノ總額デ割ラナケレバ出マセウ、然ルニ此計畫ニ依リマスとコロノ鹽ノ官費回送ノ
數量ハドウデアアルカト申シマスルト云フト、四十二年度ノ回送見込ノ數量ガ五億八千
萬斤ニナッテ居リマス、而シテ此整理ノタメニ更ニ回送數量ヲ増加スル必要ガアリマス、
其増加スル數量ヲ九千四百萬斤ト定メマシテ、合計六億七千七百萬斤ノ回送ノ數
量ニナリマス、ソレデ以テ六十二万圓ヲ割リマスルト云フト、百斤ニ就テ約九錢幾ラニ
ナリマス、要スルニ回送鹽百斤ニ付テ九錢デケケ鹽價ガ低減スル、斯ウ云フ勘定ニナリマ
ス、是ガ先ヅ直接ノ利益デアリマス、其他尙間接ノ利益トシマシテハ、先刻説明シマシ
タ通り、行政ノ簡便ト云フコトヲ得ルコトニナリマス、役所ヲ五十六箇所廢シマス、役
人ヲ判任官ガ三百人、雇フ四百人減シマス、行政費ノ節約、行政ノ簡便ト云フコトガ
此間接ノ利益ニナリマス、尙今回整理セントスル所ハ、免角鹽業者ノ風儀ノ惡ルイ所
モ多クアリマシテ、政府ニ納メル鹽ノ外ニ或ハ密賣買ト云フヤウナ弊害ガ少ナカラヌノデア
リマシテ、當局者ハ銳意之ガ取締ニ從事シテ居リマスケレドモ、何分ニモ手が廻リマセウ
タメニ餘程不取締ニナッテ居ル地方モアリマス、既ニ其鹽ノ製造ヲ許シテアル以上ハ、其
中幾ラ納附シテ、幾ラ密賣買シタカラ甄別スルコトハ、頗ル困難ノ事業デアリマスガ、一
度整理シマシテ、鹽ノ製造ヲ絕對ニ禁ジマシタ以上ハ、其取締ハ頗ル簡便ニナラウト考

ヘテ居リマス、是等モ製鹽地整理ノ間接ノ利益ト斯ウ考ヘテリ居リマス、而シテ六十二万
圓ノ利益ヲ得ルガタメニ、三百四十万圓ノ公債ヲ發行スル、得ル所ガ少ナクシテ失フ所
ガ多イヤノ御感ジガアルカ知レマセウケレドモ、試ニ六十二万圓ノ年額ノ利益ヲ以テ、
三百四十万圓ノ公債ノ元利償還ニ充テルモノト云フ計算ヲ取リマスレバ、三百四十万
圓ノ元利償還スルタメニ六十二万圓ノ利益ヲ充テマシテ、十年デ元利ノ償還ガ出來
ル勘定ニナリマス、元金デケケ償還ニシマシタラハ六年弱デ償還ガ出來ル勘定ニナリマス、
但シ六十二万圓ノ利益ヲ公債ノ元利償還ニ充テズシテ、ソレヲ以テ專賣局ハ直チニ
鹽價低減ノ資ニ供スル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス

○日向輝武君 行政ノ整理ハ多數ノ官廳ヲ廢止シテ、其得ルコロハドノ位ノ節約ニ
ナリマスガ、其額ヲ……

○政府委員(濱口雄幸君) 其方ノ節約ガ年額二十万三千圓ニナリマス
○橋本久太郎君 私が御尋申シタイト思ヒマスノハ、唯今ノ政府委員ノ御説明ニ依
ルト、六十万圓程ノ國庫ノ利益ヲ生ズルガ、其金ヲ以テ鹽價ヲ低落スルト云フコトニシ
テ、需用者ニ便宜ヲ與ヘル、斯ウ云フ御趣意ノヤウニ承リマシテ、其方法トシテ官費回
送費ニ補助金ヲヤラウト云フコトニ政府ハ申サレマシタガ、其方法手段ガ最モ吾々ガ開
キタカツタ所以デアリマスガ、此鹽ヲ需用者ニ安ク供給スルト云フコトハ、ソレハ最モ今日
必要ナコトデアッテ、吾々モソレヲ切望シマスケレドモ、此方法手段ニ依ルト、又餘程考
考シナケレバナラヌト思ヒマスガ、此官費回送者ニ政府ガ此金額ヲ以テ補助スルト
民間ノ販賣者ガ其補助金ナシニ自力回送シテ居ルモノニ一方デハ官費ガ其回送費ニ
補助スルト、民間ノ販賣者ニ打撃痛苦ヲ與ヘ、是マデニ確カニ一割六分カ知ランノ官
費ガ——一方デハ民間ニナイモノニ政府ノ方デハ補助シテ居リマス、爲ニ是マデスラ既ニ
立行カヌト云フ位、此販賣者ガ囂々トシテ口説フ唱ヘテ居ルコロヘ、又今度之ニ幾ラ
カノ補助ヲシテ、ドウヤラ承ルトコロニ依ルト、前後合スト二割ノ補助ニナルサウデゴザイ
マスガ、サウシタナラバ殆ド民間ノ販賣者ハ、即チ自力回送シテ行キ居ル者ハ、モウ殆
ド其業ノ道ヲ失フテシマフコトハ明デアリマス、政府ハソレヲモ尙忍シテ、民間ノ一方ノ販
賣者ハ倒レルモ、業ヲ失フモ顧ミズ、又唯需用者ニ鹽價ヲ廉クシタラ宜イト云フ御考デ
アルカ、又需用者ニ廉ク供給スルト云フコトニ對シテハ、此他ニ手段方法ハナイノデア
リマスガ、其邊ノコトヲ一ツ明ニ承リタイト私ハ思ヒマス

○政府委員(濱口雄幸君) 御答シマスガ、順序トシマシテ、今日ノ政府ノ官費回送
方法ヲ御説明スルコトガ必要ト考ヘマス、唯今橋本君ハ官費回送者ニ補助ヲ與ヘテ、
民費回送者ヲ云々ト云フコトデアリマシタケレドモ、是ハ實際ハ斯ウ云フコトニナッテ居リ
マス、全國ノ鹽ノ產額ノ中、其地方ニ於テ消費サルベキ見込ノ數量ヲ除キマシテ、其他
ノモノハ悉ク官費ヲ以テ回送スルト云フノガ、先年鹽專賣法ヲ改正シマシタ目的デアリ
マス、其方法ト申シマスルノハ、官費回送者ト云フモノハアリマセウノデ、政府自カラ回送
スルノデアリマス、政府ハ各地ニ於キマシテ、鹽ノ收納官署ヲ有ッテ居リマス、ソレカラ非
產地ニ於テハ鹽ノ販賣官署ヲ有ッテ居リマス、其鹽ノ收納官署デ收納シマシタモノハ、
政府ハ自カラ販賣官署ノ方ニ回送シマス、サウシテ其販賣官署ニ於テ元賣捌人ニ鹽ヲ
販賣スル際ニ實際回送ニ要シタ費用ヲ別ニ實費デ徴收シマス、販賣ノ直段ハ鹽ノ直段デ、

鹽ノ直段デ、其外ニ回送實費トシテ別ニ徵收シマス、例ヘバ百斤ニ付テ一圓ノ回送費ヲ要スルト鹽ノ直段ノ外ニ一圓ノ回送費ヲ徵收スル組織ニナッテ居リマス、ソレガ今日ノトコロニ於テハ一圓ノモノヲ全部徵收シナイデ一割六分引イタ八十四錢ト云フモノヲ徵收シテ、残りノ十六錢ハ政府ガ自腹ヲ切ル勘定ニナッテ居リマス、ソレヲ今度六十二萬圓ノ利益ヲ以テ其ノ一割六分ノ割合ヲ増シテ例ヘバ三割ニスルトカ四割ニスルトカ云フヤウニ全部使フカト云フ、サウモ限リマセヌ、其方ノ計劃ハ今日具體的ノ案ガゴザイマセヌケレドモ、場合ニ依ッテ新ニ回送先ヲ殖スト云フコトモ一ツノ方法デアリシ、又現ニ回送スル數量ヲ殖ストモ一ツノ方法デアリ、又既ニ回送スル鹽ノ數量ヲ動カサヌデ徵收スル回送費ノ割合ヲ減スト云フコトモ一ツノ方法デアラウ、要スルニ三ツノ方法ガアリマス、今日四十二年度以降ニ於テ孰レノ方法ヲ採ルカハ未ダ確定シタル案ガアリマセヌ、今日鹽ノ價格ハ全國ドウ云フ權衡ニナッテ居ルカト云フ、鹽ノ產地ニ於テ最モ廉イ所ハ一升ニ付テ五錢乃至五錢五厘デアリマス、產地ノ廉イハ當然デアル、高クテ六錢、之ガ產地ノ相場デアリマス、而シテ非產地ニ於テハ運賃ガ掛ルダケソレダケ高クナルハ當然デ、一番高イ北海道或ハ會津地方其他甲州信州ノ如キハ一升ニ付テ八錢カラ八錢五厘、時トシテ九錢ト云フ法外ナ直段ヲ示スコトガアル、同政府ノ專賣品デアリナガラ產地ニ於テハ五錢、非產地ニ於テハ八錢乃至九錢ト云フコトハ餘リ差ガ甚シイ云フ考ヲ始終持ッテ居リマス、ソレ故機會サアレバ產地非產地ニ於ケル鹽ノ直段ノ差額ヲ成ルベク減シタイ固ヨリ一舉ニ煙草ト同様何處ヘ行ッテモ六錢五錢ト云フヤウニハ往キマセヌケレドモ、五錢九錢ト云フヒドイ差ヲ避ケテ價格ノ均衡ヲ成ルベク圖リタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、サウデナイト專賣品ト云フ性質上カラ面白クナイと思フデアリマス、而シテ其差額ガ成ルベク減ズル方法トシテハ今御話スル通り特ニ高イ會津トカ飛騨ト高山トカ北海道等ノ回送シナイ處ヘ是カラ廻送ノ途ヲ開クモ一ツノ有力ナル方法デアラウト思フ、又或ル地方ニ送ッテ居ルケレドモ需用ニ對シテ十分デナイニ依ッテ殖ヤスト云フモノ一ツノ方法デアリマス、橋本君ノ先刻御問ニナッタルモ想フニ是迄送ッテ居ル場所モ殖ヤサズ、又送ッテ居ルトコロノ數量モ殖ヤサズ、唯百斤ニ付キ幾ラト云フ回送費ヲ徵收シテ居ル歩合ヲ減ス、即チ政府ガ自腹ヲ切ル額ヲ殖ヤスト云フコトヲ前提トシテ御質問ニナッタルカト思ヒマスガ、未ダソレ等ノ方法ニ付テハ全ク確定シタル案ガアリマセヌ

○橋本久太郎君 確定シタル案ガナクバ一方ノ民間販賣者ニ打撃痛苦ヲ與ヘテ其業務ヲ奪フト云フコトヲセズ、六十二萬圓ヲ以テ需用者ニ鹽ヲ廉ク得サスルト云フヤウニスルト云フコトデアラナラバ、ソレハ私ハ至極ノコトデアラウト思フガ、唯今御話中ニ是迄ノトコロノ販路ハアノ儘ニ先ヅ措クトシテ、新タニ殖ヤスダケニスルカモ分ラヌト云フ御話デアリマス、新タニ殖ヤスト云フコトハ矢張民間ノ當業者ガ其需用地ニ皆汲々考中デアッ、今マデサヘモ出來ルダケ手ヲ伸ハサウト云フコトハ當業者ガ努メツ、アル、ソレ位デアルカラ唯新タニ増スバカリニシテ民間當業者ニ痛苦ヲ與ヘヌト云フコトニハ事實ナラヌト思ヒマスガ、私ハ政府ガ官鹽ノ回送ニ補助ヲスルモノナラバ、同歩合ヲ以テ民間ノ販賣者ニモ補助金ヲ與ヘレバ、ソレダケノ鹽ハ需用地ヘ行ッテ兩方ナガラ相待ッテ廉クナルノハ理ノ當然デアルノニ、一方ニ於テハ是迄自腹ヲ切ッテ一割六分ト云フモノヲ官鹽回送者ニ補助ヲ與ヘテ民間回送者ニハソレト相拮抗サスト云フ出來得ベカラヌコトヲサセ

ツ、アルノニ、尙官鹽回送ニ此金ヲ與ヘルノハ頗ル穩當ナラヌ手段カト思ヒマス、未ダ方法手段ハ御考中デアルナラバ其邊ノコトハ能ク御熟考ニナッテ、官鹽ノ方ニ補助スルモノナラ民間ノ自ラ働キツ、アル者ニモ補助ヲヤルト云フコトニ政府ガ考ヘテ下サルガ當然デナイカト思ヒマス、具體的ニ極ツタコトガナケレバ御考置ヲ願ヒマス、ソレカラ先刻ノ御話ノ千九百町歩ノ鹽田ト云フモノハ惡ルイ鹽田ニ違ヒナイ、良イ鹽田ホド鹽分ノ度合ガ強イカラ買入レテシマウタトコロガ外ニ決シテ使用スル途ノナイモノデ何モ出來ナイニ違ヒナイガ、惡鹽田デアレバ鹽分ノ少ナイ所デアルカラ他ニ又政府ニ利用ノ途ノアル地所モアルカ知ラヌト思ヒマスガ、一體ドウ云フ地所ヲ全部廢滅ニスルカ、又ドウ區別ニナル御考デアルカ、ソレカラ先刻具體的ノ説明ガアッタガ、其中ニ多ク表ヲ御作りニナッタル分ガアラウト思フガ、悉ク控ヘル事ガ出來ナカッタカラ表ニナッタルモノハ總テ御同シニナルコトヲ希望シテ置キマス

○政府委員(濱口雄幸君) 前段ノ御質問ニ御答シマス、鹽田ハ政府ガ買收スルト云フデアアリマセヌ、最初全部買收ト云フコトヲ考ヘテ見タケレドモ、何分全國各地ニ散在シテ居ル千九百町歩ノ砂濱ヲ政府ガ取ッテ見タトコロガ、アトノ始末ニ困ルト云フ考カラ買收ヲ見合セテ、先刻モ御説明スル通り、鹽田トシテ今日有ッテ居ル價格ト鹽ノ製造ヲ禁止セラレタ後ノ價格トノ財產額ノ損失ト認メル金額ヲ交附シテ、其土地ハ現在ノ地主ニ持タセテ置クト云フコトニナッテ居リマスカラ、跡始末ノ心配ハゴザイマセヌ、サウシテ唯今御注文ノモノハ差支ナイ限り差上グルコトニ致シマス

○委員長(佐竹作太郎君) マダ追々御質問モアリマセウト思ヒマスガ、今日ハ是デ散會致シタル如何デゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

午前十一時四十分散會

明治四十三年一月二十五日印刷

明治四十三年一月二十六日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局